

SAPIENTIA

Alma Mater



英知大学同窓会会報

Vol. 12
Oct. 15, 1999

発行：英知大学同窓会
〒661-8530
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1
発行責任者：野村 裕
編集：英知大学同窓会

- 6期をふりかえり今後に向けて……………1
- 同窓会の皆さんへ……………2
- 同窓会事務局便り……………2
- 英知大学で学んだ「ソロモンの智慧」……………3
- 親愛なる英知大学の皆さん……………3
- 行ってきました!! 関東支部……………4
- 第9回関東支部総会を終えて……………4
- 和歌山グループから……………5
- WINDOWS……………5
- 退官された先生方……………6
- HOME COMING DAY!によせて……………6
- 事務局よりお礼……………6
- 卒業生コマーシャル……………7
- お悔やみ申し上げます……………7
- 耳より情報……………7
- 今年のホームカミングデーはすごいよ!!……………8
- 編集後記……………8

6期をふりかえり 今後に向けて

会長 野村 裕



新役員になり、はや6年を終えました。この間、皆様はじめ、役員の方々、大学当局の教職員の皆様には多大なるご協力を賜り感謝いたしません。

今となってしまえば、前も後もわからずスタートした時を懐かしく思います。この間、皆様に支えられながら情熱を持って走ってきた様に思います。

年々卒業生が増えていくと同時に同窓会会員も増え続け、会員が1万人になるまでに足腰の強い同窓会組織を作り上げなければならぬという焦りを感じながら、一歩一歩できることからがんばってきたという役員の自負心があります。

ただ、会員皆様及び大学当局に対しては、一方通行的にならざるをえない側面があり、どこまで満足に対応できたかは甚だ疑問な点は残ります。

ただ、いい訳がましい事ですが「側面的に大学を支えていこう、あるいは改革しよう」という強い意思のもと、役員一同努力を積み重ねてきたことはご理解願いたい部分です。

最近、我々の大学においても、世間一般の大学にあるような不祥事が起こってきており、世の流れなのか、在校生の数が増えたことによることなのかは定かではありませんが、今一度大学運営及び同窓会の運営を真剣に考えなければならぬ時期に来たと思います。

世間一般では、少子化の波が押し寄せ今より以上に「選ばれる大学像」が叫ばれてきております。

いや、我々が卒業した大

学が消滅する危機も冗談ではなくなる可能性が出てきております。我々一般社会においても、老舗と言われる大会社が、世の流れに追いつけず倒産の憂き目に遭うと言うことが日常茶飯事の出来事になっていきます。

現に、我々卒業生の方々の中にも、この不運に遭われた方もいらっしゃると思います。

この先不透明な時代になり、我々は益々真剣な大学経営を熱望し、また、我々同窓会の役割も重大なポジションになってくるものと思えます。その中で、我々は何ができるのか、何をすべきなのかを今後周知の事実として行動を起こさなければならぬと考えます。

今後とも、皆様の熱い情熱とご支援なくしては上記の問題の取り組みはできず、設立50周年に向け更なる発展し続けることを熱望するものです。





'91西文卒 永井 勝さん

会報に久々登場のこのコーナー、今回は神戸・三宮で「小台所・笑和屋」(こだいどころ・しょうわや)を営む、永井勝さん(91西文卒)にインタビューしました。

崎山 “小台所”とは面白いネーミングですね。

永井 『居酒屋』だと飲めない人には面白くないし、『小料理屋』だと何となく敷居が高い気がする。台所の様にみんなが集まって、気軽に利用してもらえればと思います、このネーミングにしました。

崎山 このお店のオープンには英知大学が深く関わっていると聞いたのですが。

永井 大学では4年間、西研(西語研究会)に所属していましたが、毎年大学祭ではスペイン料理の模擬店を出していたんです。そこで料理への興味が始まったと思いますね。学生

時代のアルバイトも神戸元町のスペイン料理を扱う店を選んだ位ですから。実は卒業後、一度はサラリーマンになったものの、半年で辞め、そのアルバイトをしていた店に店長シエフとしてどつたんです。料理を作ることの喜びや楽しみが忘れられなかつたんだと思います。そして先の震災。その店でも炊き出しをしました。暗い気分のはずなのに何故か満たされた気持ちになつている。僕の生きる道はこれだ!と決意し、独立したんです。だからこの店のオープンの究極のルーツには、西研があり、英知大学があるんです。

崎山 英知大学時代での一番の思い出は?

永井 先にも述べたように僕はクラブっ子だったので、そこでの事が思い出されます。その中でも一番は、大学祭の田吾作かなあ。猪八戒の格好して園田駅まで歩いたことは思い出したくない思い出です。(笑)

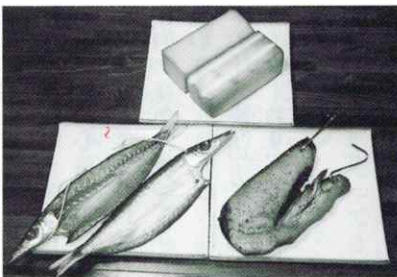
崎山 最後にお店のPRをどうぞ。



永井 酒好きには九州地鶏や薫製料理をぜひ自慢の焼酎で召し上がって下さい。飲めない方もスペイン料理でおもてなし致します。ぜひぜひご利用下さい。

崎山 有難うございました。

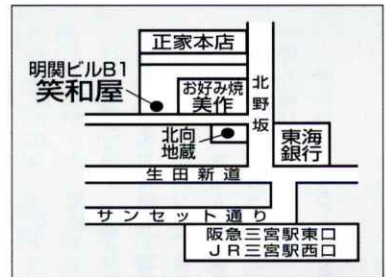
撮影/基田 高穂(95英文卒)
文責/崎山 知二(同窓会常任委員)



永井さんからの
大々サービス!!
この会報を持参して来店
頂いた方には瓶ビール1本
をプレゼント致します。
(期間/平成11年11月末日まで)



所在地/神戸市中央区中山手通1-8-1
明関ビルB1
電話/(078)321-6939
営業時間/PM5:00~AM12:00
(ラストオーダー/PM11:30)
休日/日曜、祝祭日の月曜



耳より情報



アルカイクホテルの宿泊割引があります。遠方よりお越しの方で、ご入用の方は事務局へご一報ください。



(お問い合わせ先)
英知大学同窓会事務局
渡辺まで
TEL/06-6498-6258

お悔やみ申し上げます
去る平成11年8月13日、アメリカンフットボール部の夏期合宿中に、本学英文科2回生の管直さん(21歳)が、くも膜下血腫で倒れられ、療養中の関西労災病院にて、同年8月16日永眠されました。通夜、葬儀の儀は、本学内にてご親族はもとより、学生及び教職員200名の参列のもと、とり行われました。
管直さんのご冥福をお祈りいたしますと共に、同窓会からも謹んでお悔やみ申し上げますことをご報告いたします。

今年の一歩 いっしょに ホーム チームは



副会長
藤本 滝三

又、11月3日が迫って来ました。同窓会役員が一年間の事業の総決算と意気込んでいます。

今年は特に、開学以来、初めての試みとして、現役大学祭実行委員会と同窓会合同で大学祭（11月3日のみ）を実施することになりました。折角、大学祭に来てあまりにも寂しい人影と内容で、がっかりされて帰られた方もおられたと思います。その思いは我々として同じでした。かと言って余りにも学校とかけ離れた我々が出しゃばって、現役の方々がやりにくくなってはいけないと、老婆心ながら気を使い……？ おせっかいを焼いておられます。前号の会報の中で11月3日にサッカー部と硬式テニス部がOB戦を開催しますとお知らせしましたが、これに端を発してさまざまな催しの話が持ち上がってきました。

昭和58年度の卒業の方々の同

期会。6名の退官される先生方の送別会。大学祭には、各クラブ対抗看板コンテストの資金援助。現役との合同大ビンゴ大会。これでは五万円の旅行券、一流ホテル宿泊券等、豪華賞品がたくさんあります。模擬店への参加、おでん、スバゲティー、たこ焼き、そしてバザーコーナー、今回の目玉として、かなり長い間実施されていなかったファイアーストームをする事になりました。昔を思い出すと、火を囲んで皆んなで肩を組んで歌をうたい、フォークダンスを踊ったりもしました。今の若い方が聞けば「寒くぶう」と言われそうですが、それはそれで大変思い出に残るものでした。11月3日午前中はサッカーのOB戦、硬式テニスの集い、午後一時半からは、サビエンチアタワー10階で総会の開催、2時半から、食堂、運動場でのホームカミング

デー、最終は7時半頃にファイアーストームの火が消えて解散です。秋の心地のよい日に一日ゆっくりと学生時代にもどり、明日の英気を養って頂きたいと思います。

お子様連れの方々もご安心を。ヨーヨー釣り、缶落とし、型抜き、輪投げ等、楽しいゲームを用意しています。

また、恒例の卒業されて10年目（1989年・平成元年卒）、20年目（1979年・昭和54年卒）、30年目（1969年・昭和44年卒）の方々は、会場入り口受付でお申し出下さい。記念品を用意しております。

開催日

1999年(平成11年)

11月3日(祝)

時間

同窓会総会

13時30分～14時30分

於：サビエンチアタワー10階

ホームカミングデー

ファイアーストーム

14時30分～20時頃

於：学生食堂・体育館・運動場

お問い合わせ先

英知大学同窓会事務局

渡辺まで

TEL/066498-6258

皆さんが楽しめる紙面作りを。一昨年から掲げている目標も今だに達成されようとしていません。

「マイクを向けられると、ついその場を取り繕ってしまふ。本音が聞けるのはマイクを外した瞬間だ。」なんて記者たちの愚痴のようですが、この会報もそんな雰囲気の流れではありませんか？

原稿を依頼されるとつい、肩をいかせてしまいがちです。もう少しくだけた内容であつたり、会とは何の関係のない話が出てきても

おかしくはないと思いませんか？

けれども、集ってくる原稿を読むと、当たり障りのない、ありきたりの文章です。せめてこの編集後記だけは、そんな固い雰囲気吹き飛ばす自由なスペースでありたい。紙面を創っている者のみに与えられる特権なのですから。

意気込んで書いたつもりでいた筈のありきたりの文章が……あれ？

編集後記



「今度のホームカミングデーには行くからね。同窓会の仕事いつもありがとう。ご苦労さま。」かつての級友からの電話である。卒業してからというもの、一度も連絡を取っていなかった友から。懐かしさ、電話をもらった喜び、突然の連絡への驚きと戸惑い。様々な感情が交錯して電話ではどこかこちなかつた。会えば、長い年月も吹き飛んで、昔のままの会話に戻るだろう。今から再会が待ち遠しい。

6年。かつての熱意は、いつしか情性に変わりつつある自分がいる。このままでは諸先輩方に申し訳ないと、鞭を入れようとするのだが、鞭の先は空を切るばかり。けれども、ホームカミングデーに集り来る人達の楽しそうな笑顔を見てみると、この6年間の活動が決して間違っていないのだと感ずる。

今年、友からの何気ない電話に、早くも勇気づけられたようだ。

前執行部から会を引き継いで早

英知大学同窓会 大月 力